

広報

いまり

市の人口	
3月1日現在	
総人口	59,602人
男	27,948人
女	31,654人
世帯数	14,788世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行

定価1部5円

昭和47年4月1日

伊万里市役所秘書企画課発行

No. 218



「名村造船所」伊万里進出決まる

3月19日、市民会館で本協定に調印

広報こよみ

1～7日 緑の週間

6～15日 春の交通安全運動

8日 中学校入学式

10日 小学校入学式

婦人の日

11日 交通事故相談日

11日 メートル法公布記念日

20日 慰霊祭

法律相談日

通信記念日

20～26日 郵便週間

25日 交通事故相談日

29日 天皇誕生日

※あなたの町で明るい話題があったら市広報統計係へお知らせください

51年国体を葉がくれの里で

47 **4** 月

竹内市長 名村社長と涙の握手

名村造船

伊万里進出本決まり

3月19日、市民会館で調印式

昨年7月、名村造船所が黒川町金剛島地先に進出を内定、その後、漁業補償や用地交渉が続けられ、土地所有者をはじめ、伊万里・波多津両漁協との漁業補償問題も円満解決したため、3月19日、名村造船所と県市との間で本契約の調印が行なわれました。県は4月からでも用地造成にとりかかる予定です。

株式会社名村造船所（本社大阪市資本金15億 5,000万円）の伊万里進出決定に伴う本協定の調印式は、3月19日池田知事・名村源社長・竹内市長はじめ、漁業者や地主代表など関係者約200人が出席、市民会館大ホールで行なわれました。

午前11時20分、会館ステージに設けられた式場に、池田知事・名村社長・竹内市長の順に着席、出席者の見守る中で、協定書の調印が行なわれました。調印が終わったあとは3者でかたい握手が交わされました。

なかでも、この誘致に全力を尽くしてきた竹内市長の感激はひとしおで、目に涙が光っていました。

調印のあと、あいさつに立った池田知事は「名村造船所の伊万里進出は、県はじまって以来の大事業である。造船業は、公害のない企業であり、県内の産業に及ぼす効果はいうまでもなく、県・市に対して大きな経済効果をもたらすであろう」と述べました。

引き続き、竹内市長は「まず漁業者や関係地主のかたがたの深いご理解とご協力に深く感謝申し上げたい。伊万里の歴史をかざる調印をすませたことを、市民とともに喜びをわかちあいたい。名村造船所におかれては「自然と対話のできる夢のある造船所」の実現を期待している」とあいさつしました。

また、名村社長は「伊万里に進出することは、父がつくった会社の63



年の歴史のなかで、尊い1ページになろう。県や市の熱心な誘致で伊万里進出を決めたが、これは、大阪の名村造船所伊万里工場ではなく、伊万里の名村造船所として、伊万里と会社の繁栄に尽くしたい」とあいさつしました。

調印された協定書のあらまはは次のとおりです。

▷県は、黒川町塩屋の金剛島地先に約150万平方メートルの用地を造成し、昭和50年3月末日までに完成させる。

▷名村造船所は、造成地のうちから約51万平方メートルを買収して設備投資額175億円、従業員2,160人の造船所を建設、昭和49年1月には第1船を起工する。

▷名村造船所は、県の用地造成に必要な資金にあてるため、県が発行する債券（造成予定価額の3割相

当額）を引き受ける。

▷名村造船所は、工場の建設工事や操業に伴う役務や資材は、県内から優先調達する。

▷名村造船所は、工場用地造成のための漁業補償・土地買収によって生ずる転業者およびその子弟の優先雇用・県内企業の育成と関連企業の誘致につとめる。

▷名村造船所は、公害を出さないように、十分な措置を講じ、環境の美化につとめる。

などの条項が定められています。

なお、新工場は、船舶建造・修理と陸上鉄構製造・据付などの事業を行いますが、差し当たっては船舶建造を主体に工場を建設します。

第1期工事は、長さ450メートル幅66メートル・深さ11.5メートルのドックと、10月からは工場屋などの建設にかかり、49年3月には完成させる計画です。

また、同年1月には7万トン級の第1船建造に着手する予定です。

従業員は、はじめ700人でいどころから、工場を計画的に充実し、2,160人でいどころにふやして16万トン級の船舶を建造しますが、将来は25万トン級の大型船も建造する計画です。

しかし、この造船所誘致のためには、伊万里市発展の礎となつて、長い間生活の場としてきた海を去る漁業者・大事な土地を手ばなすことになつた地主の皆さんなどの深いご理解とご協力があったればこそでありわたしたち市民は、これらのかたがたに対する感謝の気持を生がい忘れてはならないと思います。

犬の取締条例を制定

第1回定例市議会

昭和47年第1回定例市議会は、3月10日に開会、昭和47年度一般会計特別会計予算や犬取締条例など審議可決して25日閉会しました。予算関係を除く議案の概要をお知らせします。

老人福祉センターが開館

◎総工費4,100万円をかけて、松島町の文化センターの一面に建設した老人福祉センターは、4月から開館します。そのため、その設置や管理に関する条例を制定し、利用者の資格や使用料などを決めました。

老人福祉センターを利用できるのは、60歳以上のかたです。

使用料は、1日20円ですが、1年間利用契約すると、特別料金の500円、市外の人を利用するときは、1日50円です。

なお、センターから遠いかたには貸切バスを運行し、ひとしくご利用いただくことにしています。

◎国民健康保険給付費のうち、葬祭費を、ことし4月1日からいまの3,000円を5,000円に引き上げることにしました。

2地区で農地開発事業

◎市営土地改良事業で、山林など未利用地を利用した、なし園や養蚕たばこ団地を造成、近代的な営農体系を確立するとともに、自立農家を育成するため、波多津町木場と南波多町大川原地区で農地開発事業を実施することにしています。

木場地区は、水稻を主体に、一部養蚕・たばこ・みかんの複合経営が

行なわれています。

ここに、総事業費9,570万円をかけ、48年度までに約33ヘクタールの養蚕・たばこ団地を形成し、道路整備や防災・防除施設などを完備する計画です。

また、大川原地区は、なしの無袋栽培を進めるため約13ヘクタールのなし園造成と、幹線道路・耕作道路およそ4,100メートルを整備するほか、土壌改良や防災・防除施設の整備などに4,643万円の事業費を見込んでいます。なお、この地区は47年度で終わる予定ですが、完成後は1戸平均所得約67万円の所得増加が見込まれています。

犬の放し飼いなど規制

◎犬取締条例ができました。犬による人畜などの危害を防ぐとともに公衆衛生の向上を図るために設けたものです。

犬の飼い主は、こんご次のことを守っていただくことになります。

▷飼い犬は、人畜などに危害を加えないようにつなぐか、一定のさくの中に入れておくこと。

▷飼い犬をつれ出すときは、くさりか綱をかけること。また、かむおそれのあるときは、口輪をかけること。

▷飼い犬が、人畜などに危害を加えたときは、その飼い主は、ただちにそのことを市に届け出ること。ただし、次の場合は、例外です。

・警察犬や狩猟犬など、その目的に使うとき。

・人畜に危害を加えるおそれのない場所、または方法で、飼い犬を訓

練したり、運動させるとき。

・展覧会や品評会・競技会などに飼い犬を出動させるとき。

なお、この措置命令に従わなかったときは、1万円以下の罰金です。

公平委員に夏秋氏を再選

◎公平委員の夏秋満雄氏（松島町67歳）が、5月4日で任期満了するため再選しました。

◎市民の安全交通を守るため積極的に活動いただいている交通指導員を、いまの30人から35人にふやし更に交通安全対策を強化します。

◎老きゆうのひどい市役所黒川出張所は、国道沿いに新築した黒川公民館に移転しました。

上水道・簡易水道の料金を改定

◎水道事業は、収支の採算的経営を前提としており、そのなかで常に適正原価によるサービス供給を図らなければなりません。しかし、現在の水道事業は、51年度までに1億余の赤字が予想されるため、市民の皆さんにご協力を願ひし、料金の改定を止むなくしています。

改定は、47年度から51年度まで段階的に引き上げることにしています。

また、簡易水道も上水道と同じく段階的に料金を改定することになりました。

47年4月1日から49年3月31日までの改定額はつぎのとおりです。しかし、大川簡易水道は5月1日からです。

▶水道料金改定額
基本料金は10^m当たり・超過料金は1^m当たりです。（単位円）

用途	基本料金		超過料金	
	上水	簡水	上水	簡水
家庭用	495	450	53	45
営業用	560	560	60	56
特別用	980	900	53	45
共同せん	430	430	45	32

薄い不燃物用のごみ袋

— 市政モニター課題の回答結果(上) —

2月中旬に実施した「市政モニター課題」の回答結果がまとまりました。市政モニター24人のうち17人(71%)から回答がありました。調査の結果や意見は、これからの市政運営に役立てます。

なお、課題はごみやし尿処理・広報の配布状況や内容・道路や野犬対策に関する39項目でした。調査結果の概要は次のとおりです。

〈ごみ処理〉

不燃物扱いのごみは 種類のPRを

回答のあった17人のうち、市指定のごみ収集袋を使っている世帯は8世帯でした。このうち燃焼物・不燃焼物とも収集袋を使用している世帯が6世帯・あきかんやポリ容器などを入れる不燃物用の袋だけ使用している世帯が2世帯でした。

1か月間に使われる袋の数は、収集委託している世帯が少ないため妥当な数はつかめませんが、改正前の手数料額と大差はないという結果からみると、1世帯平均・青袋(燃焼物)が3~4枚・ピンク袋(不燃物)が1~2枚の見当とみられるようです。

袋の厚み・大きさの調査では、まず、青袋(大)は、ちょうどよいと答えたもの2人・もう少し厚く3人で、いまの規格でほぼ役目を果たせるようです。

また、大きさの点では、回答者全員がいまのまままでよいと答えています。なお、小袋についてもだいたい同じ意見です。

ピンク袋は、大きさの点では問題はないようです。しかし、もう少し厚くせよという意見が圧倒的に多く再検討を要する問題です。

収集状況については、収集業者の

努力で、ほとんど支障はないという回答結果でした。

しかし、ごみに対する意見はかなり多く出されています。特筆すべきことは、木須海岸や東山代干拓付近の海岸に、豚や鶏など汚物を自動車で運び、捨てる悪質者がいることまた、清涼飲料などに使われているポリ容器などは、販売業者で完全回収してほしいという強い意見もあります。

燃えるものと燃えないものを完全に区分してもらうために、どうしたらよいか意見を聞きました。その結果、次のような貴重な意見が出されさっそく検討しています。

- ・燃えないごみとして取り扱うべきポリ容器やプラスチック製品などの種類を市民に徹底せよ。
- ・収集袋に住所・氏名を書かせ、混入している袋は回収しないで本人に注意せよ。
- ・負担金を徴収して袋代を無償にす

れば不法投棄もなくなるなどです。

〈し尿処理〉

汲み取り区域の拡大を

し尿汲み取りを市に委託しているのは、17世帯のうち7世帯で、残り10世帯は自家処理でした。自家処理の内訳は、自宅ですべて処理できると答えた世帯が8・遠くまで地のため委託していないもの1・浄化そうを備えている世帯1となっています。

汲み取り料金は、改正前に比べ高くなった世帯が1・少し高くなったが妥当な料金と答えたもの2・安くなった世帯が2となっています。

いまの定額制では、家族の人数によって当然差が出るためであり、回答結果からみると現行料金はほぼ妥当な額といえるようです。

汲み取りも、ごみ収集と同様、回答者全員が支障はないと答えています。共稼ぎ世帯などは、るす中でも汲み取ってもらえるために、むしろいまの制度を歓迎しているようです。

しかし、し尿処理全般について次のような意見もありました。

- ・家屋の密集地区は共有の便所を設置して汲み取りの効率化と経費の節減を図ったらどうか。
- ・小型汲取車を導入してもっと農村地区へも汲み取り区域を拡大せよ
- ・来客や工事のため定期汲み取りができなかったときはできるだけ早く汲み取って欲しい。

こんな廃品はピンク袋へ

この廃品はみんなが出したごみの中に混っていたものです。こんなごみは必ずピンク袋に入れて出してください。



「路上駐車」が消火に支障

消防署が伊万里保育園で火災訓練

春の全国火災予防運動期間中の3月7日、消防署は、伊万里分団の協

力をえて、伊万里保育園（池田一郎園長・園児数247人）で、火災防ぎよ訓練を行ないました。

この訓練は、伊万里川の拡幅工事で交通の便が悪く消火活動が最悪の状態であることを想定して行なわれたものです。

午前10時「伊万里保育園の炊事場からの出火」を想定して、一斉に消火活動にうつりました。消防署のタンク車2台は、伊万里小学校横から陣内を通って保育園に到着、消防団は幸善町の駐車場前にある消火せんから可搬動力ポンプ1台を使い、仮橋を通してホースを延長・分岐管による2線放水を行ないました。

訓練結果は、火災発生から放水まで約5分、普通の場合の約2倍の時間がかかっていることがわかりました。

消火活動に時間がかかったのは伊

万里川の河川拡幅工事で、幸橋と延命橋の通行ができなかったことと駅



通りや銀座通りなど、交通が混雑する道路ぞいに駐車している車が多く消防車や可搬動力ポンプの通行を妨げたことが、大きく時間をおくらせた原因です。

また、11日には山代町の西田病院で、高層建築物内で放送設備をつかっての病院職員による避難誘導訓練が行なわれました。

消防署は、この訓練を参考にして消火・避難活動の方法などを再検討することになっています。

市内には、いたるところ道路の改良や河川の改修が行なわれています。いつ発生するかわからない火災にそなえて、各事業所では自衛消防隊の編成・家庭でも初期消火のできる体制をととのえておきたいものです。

黒川公民館が完成

出張所も同時に移転



2階は、図書室や講座室・10畳と16.5畳敷きの和室2間などからなっています。

また、市役所黒川出張所も同公民館の一室に移転しました。

▶完成した黒川公民館◀

塩の効用

- 干びょうは、塩でもんでよく洗い、ゆでると柔かく味がよくなります。
- 豆腐を思うように切るには、水2リットルに塩ひとにぎりの割合で混ぜ、20分ほどつけてから切るとよい。
- リンゴの皮をむいたら、塩水に浸すと変色しない。

黒川公民館が完成、3月5日に落成式を行ないました。

国道204号線沿いの2,677平方メートルの用地に、昨年9月から2,509万円を投じて建設工事を急いでいたものです。

鉄骨構造カラー鉄板ぶき一部2階建て・517平方メートルで、1階に事務室・控室・宿直室・便所・調理室のほか330人を収容することができるステージつきの講堂があります

百日ぜき

ジフテリア予防接種は中央で

百日ぜき・ジフテリア予防接種は毎月第2・3火曜日の13時30分から14時30分まで中央公民館で実施します。休日のときはその翌日です。

▷1期は、生後3か月～5か月の乳児は3～4週間かくで3回接種です
▷2期は、1期接種前1年～1年半経過後1回接種です。

道路整備と電子計算センター建設を重点

めざす新しい広域生活圈づくり

昨年7月から策定を急いでいた「伊万里・北松地域広域市町村圏」の振興整備計画がまとまり、本年度から広域事業に着手することになりました。なお、計画は基本構想・基本計画・実施計画の3つからなっています。伊万里市は、この基本構想のなかで、圏域の中核都市に位置づけられており、行政・経済・産業・教育文化などの総合管理都市としての役割をもっています。

広域市町村圏のねらいや事業計画などそのあらましをお知らせします

広域市町村圏のねらい

最近の経済の発展に伴う所得の向上とともに、国民の生活態様も次第に都市化しています。しかし、その反面、道路の整備や住民福祉施設などの公共施設は非常に立ち遅れ、市町村は早急な整備を迫られています

また、交通機関などの普及によって、住民の日常生活上の行動範囲が拡大し、市町村の区域をこえて住民の日常社会生活圏がかたちづかれています。この住民の日常社会生活圏を主体とした行政を実施するためには、行財政の合理化・財源の確保は急務であり、市町村は、共同して協力体制を整えなければなりません

広域市町村圏は、このような、市町村が当面している問題を共同して解決しようとするものです。

ですから、広域市町村圏が設定されることによって広域行政が進めら

れ、住民の必要としている公共施設が整い、住民サービスが向上することになります。

手をつなぐ3市9町村

伊万里市と広域市町村圏を設定している市町村は、佐賀県有田町・西有田町と長崎県松浦市・平戸市・生月町・田平町・鹿町町・江迎町・福島町・鷹島村・大島村の3市7町2村です。

3市9町村の総面積は745.86平方キロメートル・人口は19万 1,313人4万 7,183世帯です。

昨年7月3日、佐賀・長崎両県知事の設定通知を受け、これまで、関係市町村で組織した「伊万里・北松地域広域市町村圏協議会」で振興整備計画を進めてきました。しかし本年度からは始める事業は、圏域全体で組織する一部事務組合や、事業によってはその関係市町村で組織する

一部事務組合などで進めます。したがって、これまでの協議会は発展的に解散することになります。

圏域各市町村の役割

計画は、基本構想・基本計画・実施計画の3つからなっています。

基本構想は

「県境をこえて伸びゆく生活圈」を表象し、46年度を基準として、15年後の昭和60年における将来図と、これを達成するために必要な施策の大綱を打ち出しています。

市町村の果たすべき役割などは次のとおりです。

〈伊万里市〉 伊万里湾地域における行政・経済・産業・教育・文化などの総合管理都市として、中枢管理機能の充実・伊万里湾工業基地形成・国際貿易基地の形成・食糧基地の形成・教育文化機能の集積強化都市開発と、新しい農村コミュニティの編成・道路整備と交通通信体系の整備を図り、圏域の中核都市としての役割をもつほか、北九州・福岡と佐世保・長崎とを結ぶ西九州ネットワークの中での工業港湾都市としての役割を果たす。

れたら「いかなる場合でも有難いという結論が出せるかどうかにある」といいたい。たとえ苦しいことがあっても、それは今のわたくにふさわしいこととして起こっているの、それを克服すればどんなすばらしいことになるかも知れない。そう信じて、そのことを生かすことができれば、苦しきこともまた有難くなる。

人生というのは、そういう姿が実相であって、「踏み迷うても」実は花の中にあるのである。

それを踏み迷ったといつてはすぐにあわてふためく踏み迷うてもいいのに踏み迷ったと錯覚して、あわてている人さえある。

踏み迷ったら、しばしばたずむ余裕がなければならぬ。その余裕が、まだ自分が花の中にいることを気づかせてくれる。

花の中を出て踏み迷うとそこはもはや吉野山ではなくなる。

このごろは、この自然の調和、人生の実相である花の中から、やたらに迷い出る人が多くなった。

〈平戸市〉 圏域西部と西海国立公園の中心都市として行政、教育文化機能の集積強化・観光・水産の拠点としての機能の充実・平戸大橋を拠点とした圏域総合開発を進め圏域西部の中心都市としての役割を果たす。

〈松浦市〉 臨海工業団地や内陸工業団地の形成・新松浦港（仮称）の整備促進・ダム建設・第1次産業の促進・レジャー観光の開発、行政教育・文化・社会福祉の充実を図り長崎県北および、伊万里湾地域の行政・産業・経済・教育文化の中核都市としての役割を果たす。

〈有田町〉 工業近代化に伴う工業団地の造成と、勤労者住宅団地の造成・勤労者福祉施設の整備・主要道路の整備・黒髪山自然休養林指定に伴う観光施設の整備・窯業教育文化機能を充実し、陶磁器窯業圏の中心地および他圏域の結節地点としての役割を果たす。

〈西有田町〉 伊万里・佐世保と有田に結節する地点として、土地利用体系の確立、畜産・果樹・林業など農業生産性の向上と経営の近代化伊万里湾開発に伴う住宅の誘導地域としての開発と、生活環境の整備を図り、農業・内陸工業の一体化と自然観光地帯としての役割を果たすほか、近郊農村としての住宅地域を形成する。

〈大島村〉 離島としての後進

性をなくすため本土との交通機関の整備充実を図るほか、港湾・漁港の整備・米作と結びつけた養蚕・葉たばこ・畜産の振興・漁業の近代化と浅海養殖の推進・観光開発と施設の整備を図り、海と自然美を生かしたレジャー観光地と農漁業地域としての役割を果たす。

〈生月町〉 漁港の整備・総合増殖殖開発センターの設置と漁場の改良、造成水産資源の再開発・水産業就業者の船員会館建設による労務管理・福祉教育など総合的対策の推進・観光開発と施設の整備を図り圏域水産業の拠点として中核的機能の役割を果たす。

〈田平町〉 畜産・そ菜・園芸の専業農業者育成・水産業振興・農産物流通基地形成・西九州観光ルートにおける大衆レジャーランドとしての観光開発、田平港の整備、ローカル空港設置による交通拠点をつくり離島および圏域の交通・流通基地としての役割を果たす。

〈福島町〉 主要道路の整備と観光施設やレジャー産業の育成による観光客誘致促進・園芸作物など農業振興による食糧供給基地形成・畜産・養殖漁業の規模拡大による漁業振興を図り伊万里湾工業地帯の中の居住地域・休養地としてのレクリエーション地帯の役割を果たす。

〈鷹島村〉 産業基盤整備による水産・農産物の供給基地・航路と

道路網の整備による時間・距離の短縮・恵まれた自然環境を生かした健全なレクリエーション基地を形成し自然に親しむ憩いの場としての役割を果たす。

〈江迎町〉 佐世保圏域との結節地の役割をもつほか、江迎湾工業団地を中心とした圏域南西部の産業発展の拠点となるため江迎工業団地の開発・炭鉱跡地利用による企業誘致・住宅団地造成・圏域南西部中心街の形成・県北医療センターとしての町立北松中央病院の整備を図る

〈鹿町町〉 江迎湾工業団地の開発・農林水産業の育成を図るため交通体系の確立と、他圏域との結節点としての機能充実・社会福祉と教育文化施設の拡充、北九十九島の自然景観を生かした観光地域・伊万里松浦へ結ぶ臨海工業地帯としての役割を果たす。

基本計画は、昭和47年度から昭和51年度までの5か年計画で、整備を急がれている道路のほか、電子計算機の導入、ごみ・し尿処理施設・広域消防施設整備など、根幹事業に約70億円を予定しています。

このうち、道路については、整備機械導入費を含めて、およそ50億円を当てており、特に、基幹道路は1線完結方針でいく計画です。

実施計画は、基本計画に定めた根幹事業の年次計画で、昭和49年度までの3か年計画になっています。

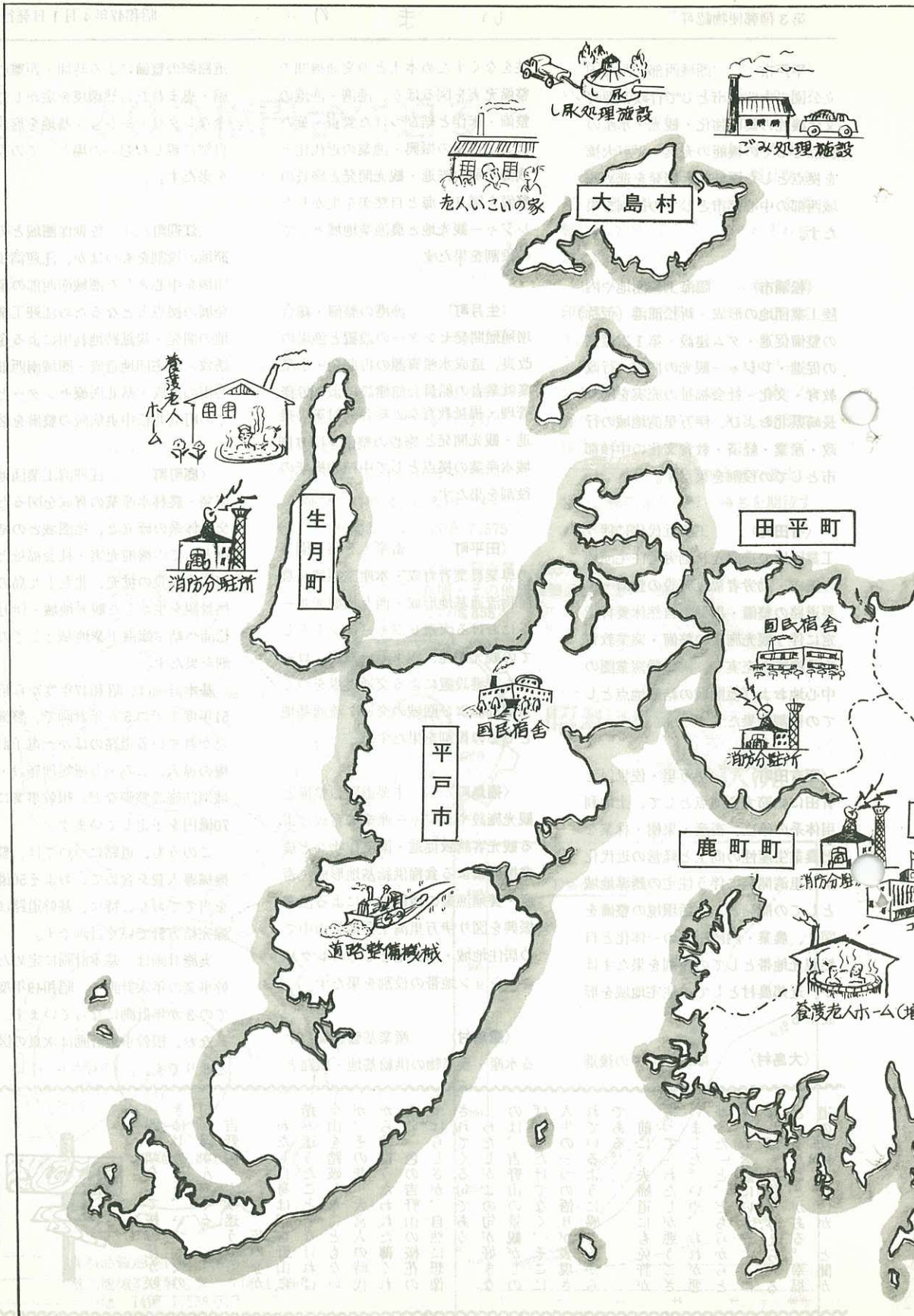
なお、根幹事業計画は次頁の図のとおりです。

前に、夫婦道にも免許があつて「わたしが悪うございました。いや、おれが悪かつた」と、どちらからともなく素直にいえるようになれば、初段が与えられるといったことがある。幸福道の初段はなにか、と聞か

四月になって桜の花が咲きはじめると、いつも次の句が浮かんでくる。
吉野山 ふみ迷うても
花のなか
わたし自身は、吉野山に踏み迷うたこともなければ全山を踏破したこともないが、その昔、大宮人の時代から歌にうたわれた薄くれない一色の吉野山の桜花のすばらしさが、自然に想像されてくる句である。
わたしがこの句が好きなのは、吉野山の景観がしのばれるだけでなく、そこに人生の一つの悟りが表現されているように感じるからである。

四月になって桜の花が咲きはじめると、いつも次の句が浮かんでくる。
吉野山 ふみ迷うても
花のなか





し尿処理施設



ごみ処理施設



老人いこいの家

大島村



養老老人ホーム



消防分駐所

生月町



国民宿舎

平戸市

田平町



国民宿舎



消防分駐所

鹿町町



消防分駐所

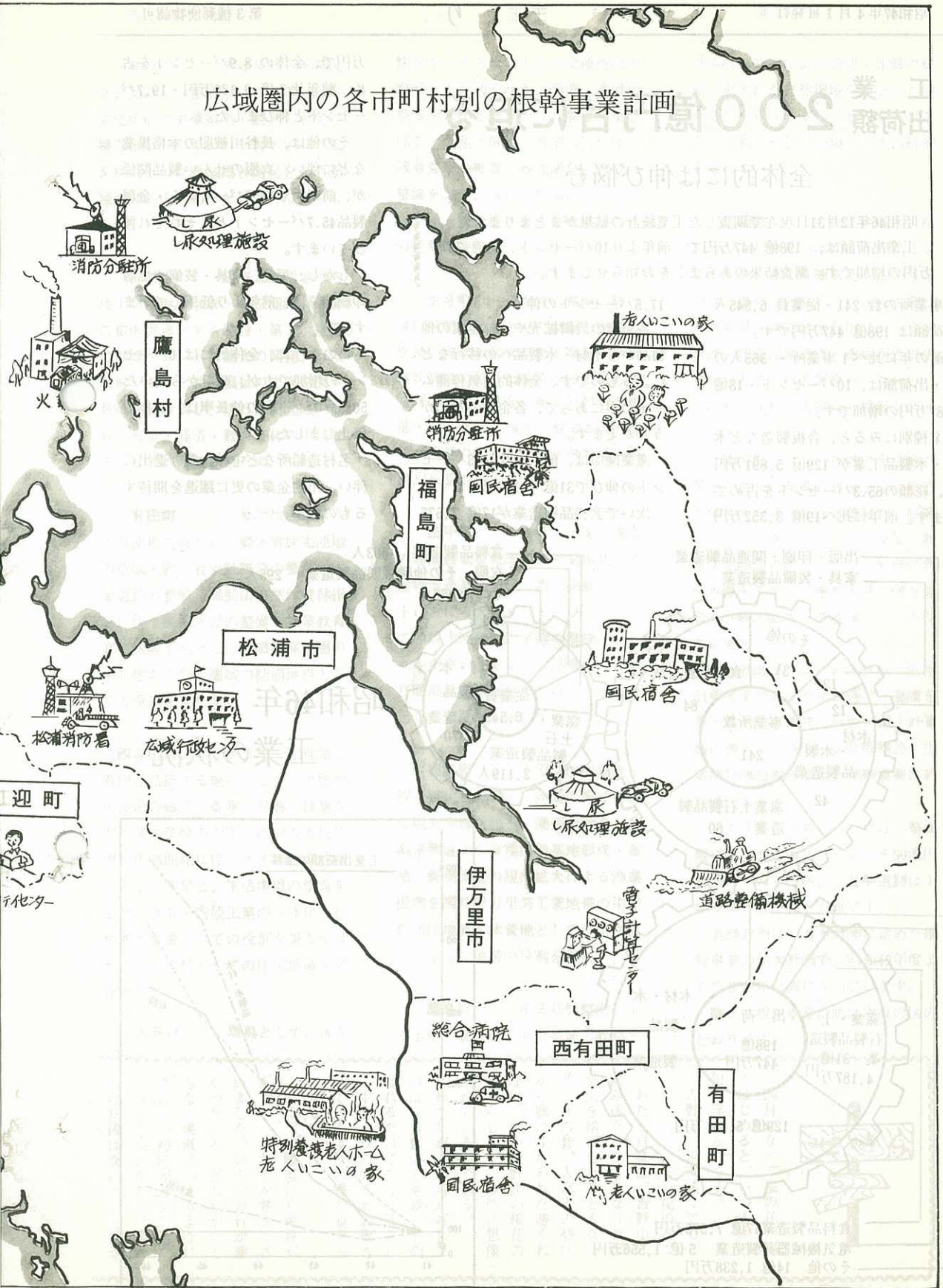


養老老人ホーム



道路整備機械

広域圏内の各市町村別の根幹事業計画



工業出荷額 200億円台に迫る

全体的には伸び悩む

昭和46年12月31日現在で調査した工業統計の結果がまとまりました。工業出荷額は、198億447万円で、前年より10パーセント、18億787万円の増加です。調査結果のあらましをお知らせします。

事業所の数 241・従業員 6,545人
出荷額は 198億447万円で。

前の年に比べ1事業所・365人の増・出荷額は、10パーセント・18億787万円の増加です。

業種別にみると、合板製造など木材・木製品工業が129億5,891万円で、総額の65.3パーセントを占めています。前年に比べ19億3,352万円

17.5パーセントの伸びです。

各企業の設備拡充や一部企業の他製品から木材・木製品への移行などによるものです。全体的景気停滞ムードの中であって、各企業の努力がうかがえます。

窯業関係は、前年より34.3パーセントの伸びで31億4,187万円です。

次いで食料品製造業が17億7,575

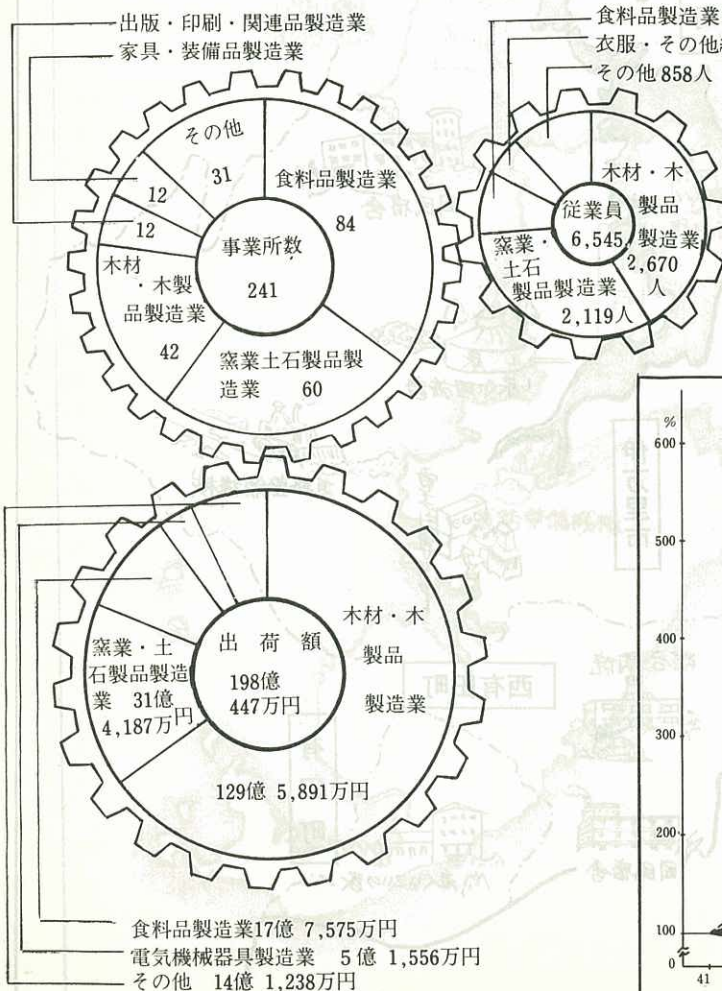
万円で、全体の8.9パーセントを占め、前年比2億9,179万円・19.7パーセントと伸びました。

その他は、長谷川被服の本格操業などに伴い、衣服のせんい製品関係が、前年より68.2パーセント・金属製品45.7パーセントと、それぞれ伸びています。

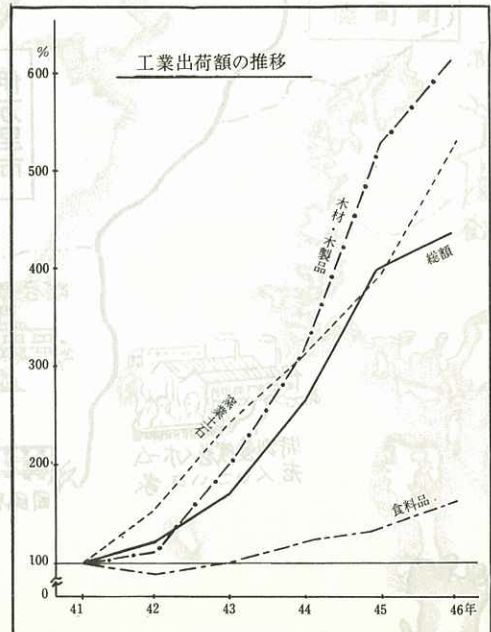
しかし、反面、家具・装備や出版印刷関係は、前年より低下しています。

このように、全体的には10パーセントの増加ですが、43年から続いた50パーセント台の伸長率は、46年で停止しました。

名村造船所など中核企業の進出に伴い、市内企業の更に躍進を期待するものです。



昭和46年 工業の状況



耳の不自由な50人が受診

3月5日「耳の日」の無料検診



日本耳鼻咽喉科学会佐賀支部（松下英志支部長・会員42人）の会員25人は、3月5日に耳の無料検診を市民会館第1会議室で行ないました。この無料検診は3月3日の「耳の

日」の記念行事として行なったもので、市内の耳の不自由な人51人が診察を受けました。

会場には、聴力を測定する検査器械3台がおかれ、耳が聞こえなくなった原因が、神経や他の病気によるかを器械で測定し、測定表をもとに耳鼻・咽喉を診察、正しい治療の方法などを指導していました。

受診者のほとんどは、おとしりや子どもで、家人に付き添われ、医師の指導を熱心に聞きいっていました。

この無料検診は、来年も行なわれることになっています。

広域圏のまちを訪ねて

(7) 江 迎 町

江迎湾の開発に期待

北松炭田の中心地として栄えた江迎町は、町制が施行されて満32年目を迎えようとしている。

大正時代まで純農村にすぎなかった江迎町は、昭和8年、住友潜竜鉱の開鉱以来急速な発展をとげ、炭鉱の最盛期には、人口約2万をかぞえる黒ダイヤの町として、その名声を誇った。

しかし、昭和30年代になって、世界的なエネルギー革命のおおきくをくって、昭和42年には、すべての炭鉱が閉山した、相次ぐ炭鉱の閉山で人口は大幅にへり、町の財政は極度に窮乏したが、町民の懸命な努力と経費の節減・機構の合理化などによって、昭和33年度1億8,000万円にのぼった赤字を、昭和44年度には完全に解消し、11年間にわたる財政再建団体を返上した。

財政再建の完了と町制30周年を迎えた昭和45年には、町のシンボルともいえる鉄筋3階建ての近代的な町庁舎を総工費1億1,400万円で建設

しており、これからの町政に対する住民の意見込みを感じる。三方を山で囲まれたラッパ状の江迎湾の頭を中心に、山が海にせまり町を流れる江迎川やその支流に沿って水田地帯が



開けているが、丘陵やけい谷が多いため、平たん地に乏しい。

町の基幹産業は、米作や園芸・畜産を3本の柱とする農業と炭鉱跡地や港湾のしゅんせつ工事で造成した約27万平方メートルの用地に誘致した企業である。

昭和39年、機械や製缶などを加工する日室三扇製作所の誘致に成功して以来、ダイカン工業・長崎ニットが進出・既存の工場とあわせて、昭

和45年度には、年間約15億円の生産をあげている。

この町で珍しいことは、川一つ隔てた鹿町町と日常の経済交流が盛んなことから、昭和34年に両町の商工業者が会員となり、北松商工会議所を設立して商取り引きや商工相談などに応じていることである。

また、し尿・ごみ処理を共同とする塵か処理一部事務組合や学校給食の共同調理をするため、鹿町・江迎給食衛生一部事務組合をつくっている。将来は小学校の統合をはかる計画もあり、ここでは、すでに広域行政が積極的に進められている。

北松の医療センター・北松中央病院は、医師会などの団体に経営を委託、公立民営の病院として町民の健康管理に成果をあげていることも注目される。

いっぽう観光資源は、潜竜ヶ原や白岳高原などがあり、シーズンにはたくさんの観光客でにぎわう。

わたしたちの町と同じように、炭鉱閉山に伴って、苦境のどん底を歩いてきたこの町は、広域市町村圏の中で、さらに手を取り合い、恵まれた立地条件による企業の誘致と自然を生かした観光開発を2本の柱として大きく発展していくことであろう

あいさつ運動を広めよう

市連婦人会が婦人大会ひらく

伊万里市連合婦人会（前山ユキ会長・7,916人）の婦人大会は、3月5日、市民会館大ホールで開かれました。

大会では、昭和46年度の事業・会計報告につづいて、昭和47年度の活動方針として、△あいさつ運動をおし進め、婦人の和をひろげる △米を正しく理解して、バランスのとれた食生活にとりくむ △健全な社会をつくるために、純潔教育を進める △暮らしをよくするために、婦人の真心を政治に生かす △事故を防止するため、酒を飲ませない の5つを柱として、活発な運動を展開していくことを決めました。

体験発表では、特に、松浦町の幸島オサユキさんが「農家の嫁としてとつぎ、からだが弱く、10年間人には言えない闘病生活を続けてきたが家庭の理解をえて、保健栄養学級で学んだ緑色野菜や麦ごはん・大豆などをとり入れた栄養改善につとめた結果、貧血もなおり健康なからだをとり戻すことができた。幸福は健康であり、一生懸命に働けることこそ何のものにもかえ難いものである。わたしは、この体験をいかし、松浦町の

食生活改善につとめ、次代を背負って立つ子どもの健康管理を積極的に進めていきたい。」と体験をとおして食生活の改善の必要性を、訴えました。

午後は、市子ども話し方大会で1位に入賞した、山



▼市民会館で開かれた婦人大会▲

非行や事故をなくそう

春の青少年育成強調運動実施中

春は青少年にとって、進級や進学就職など重要な時期であるとともに休暇による学校からの開放感や、春の陽気などから気分も浮かれ、とかく日常生活が不規則となりがちです。また、ちょっとした誘惑にも青少年特有の好奇心がたつたため、非行にはしりやすいものです。

親や周囲の人のわずかな不注意から、いたましい交通事故や水難事故をひき起こすこともあり、とくに新入学児には交通事故が心配です。

そこで、市および市青少年問題協議会は、県・青少年育成県民会議などの団体と一緒に、3月15日から4月15日までを春の青少年育成強調月間と定め、ひとりの非行や事故者もなく、心身ともにすこやかな青少年を育てる運動を展開しています。

「うちの子にかぎって」という親のこぼれをよく耳にしますが、家庭にあっては、規則正しい生活をさせ自覚と責任をもたせるなど、親と子

どもの対話の時間をつくり、学校や職場・地域においても、愛のよびかけ運動などを行ない、市民すべてが一丸となって、青少年の非行や事故防止につとめましょう。

伊万里生活学校生募集

伊万里公民館は、昭和47年度の伊万里生活学校生を募集しています。

生活学校は、毎日の生活の中で困っていることや疑問に思っていること、希望したいことなどを具体的に申し出て、みんなで問題を解決しようとするものです。

主婦ならだれでも参加することができます。

ご希望のかたは、4月25日までに中央公民館（電話7108）へお申し込みください。

生活学校は、毎月第3火曜日に予定しており、開校予定日は、5月16日です。詳しくは、中央公民館へおたずねください。

消費者通信

洗剤に表示してあるCMC

合成洗剤には、界面活性分のほかに各種の添加剤が配合されています。この中で、CMCは、再付着防止作用の働きを示します。

再付着防止剤とは、一度分散したよごれが洗たく物に再び付着するのを防ぐのに効果があり、一般的にはCMCは、洗たく仕上げ剤合成のりとして知られています。

交通規則を守ろう

伊万里町住人

自動車の増加による交通混雑は、歩行者にもおよび歩行者は、道路の片隅を小さく歩いて歩いている光景は、どこへ行っても見るこ

とができる。わたしたちの町は、福岡と長崎を結ぶ中間にあるため、国道は、福岡など他県の車がたくさん通るようになった。このように、伊万里を通過していく車は、バイパスの完成で解決すると思うが、一歩、町の中に足を踏み込めば、狭い路地に車がひしめき、新しく開通したばかりの本町・上伊万里駅線沿いには、車がじゅうづつなぎに止められ、一方通行になっている上土井町通りなどを平気で通り抜けている車があるのには驚かされる。

また、人通りのはげしい駅通りや銀座通りには、駐禁止にもかかわらず、平然と店頭を車を横づけして荷物の積みおろしをしているか

と思えば、商品を道路に上ま

と出している店もある。商店街の要望で駐車禁止区域に指定されたと聞いたが、自分たちが違反するのはどうしたことが。

買い物をする主婦などは車がすれちがうたびに店先に避難し、車の通り抜けるのを待って買い物をする有様である。



この問題を解決するには商店経営者などの良識を待つばかりではないだろうが、都会の商店街は、時間帯をもうけ、他人に迷惑をかけないように、夜間、荷物の積みおろしを行なっている。

銀座通りなどは、駐車禁止の解かれる時間帯もあることだし、くふうとやる気さえあれば問題は解決すると思う。

こどもの安全を絶対優先

春の交通安全運動 4月6日～15日

春の交通安全運動が、4月6日から10日間展開されます。歩行者・運転者などに交通安全思想の徹底を図って、正しい交通ルールの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底を図るのが目的です。

こんどの運動は、歩行者、特に新入学児童・園児・幼児の交通事故防止が重点になります。

そのため、小・中学校・保育園から半径1キロメートル以内をスクールゾーンに設定して、それぞれの地域の実態に応じて次のような安全対策を行ないます。

▷子どもの安全を絶対優先させる立場から関係機関は協力して歩行者専用道路の設定・大型車両の進入禁止・一方通行・速度制限・駐車禁止・交通安全標識の取り付けなどの措置をとります。

違法駐車や商品・看板などの路上占有物の排除などを徹底させます。

運転者は、スクールゾーン内では次のことを守ってください。

- 規制速度を厳守すること。
- 子どものそばでは、一時停止また

- は徐行すること。
- 横断歩道では一時停止して、子どもを優先通行させること。
- 子どもの飛び出しや信号無視などのあることを予測して、安全運転すること。
- 路上駐車をしないこと。

市政モニター随時通信

最初のモニター会議で、養豚による悪臭について調査指導を依頼したが、いまだにそのままになっている。冬はいいが、これから先は悪臭がひどく悩まされるので、善後策を講じてほしい。

【おこたえ】

最近、畜産経営規模の拡大と肥料として、し尿を使わないことなどから、管理が十分でなく、し尿のたれ流しによる公害が増加しております。

畜産公害対策については、問題のある畜産農家を回り、し尿貯留そうを設置し、管理を十分に他人に迷惑をかけないように、また、人家が密集している地域については、移転

名村造船所の誘致も、漁業者や地主の皆さんの理解とご協力によって明るいきざしが見え、伊万里もこれから大きく変わろうとしているとき、これを転機として、わたしたち市民はもう一度、自身を反省してお互いが協力し合って、住みよい町づくりまい進したいものである。

するなどの指導を行なっています。しかし、公害防止施設資金の問題管理不十分などから解決していない養豚家があり、たいへん迷惑されていることと思いますが、こんご、畜産公害対策については、積極的に指導を行ないます。(市民生活室長)

5月1日に商業調査

通産省は、2年ごとに全国の商店を対象に、商業統計調査を実施しています。ことしは11回目の調査になり、5月1日現在で行ないます。

この調査は、商業や商品流通の現状を把握し、道路輸送計画・都市計画などつりあいをとりながら、商業の近代化と商店の経営方針をたてるために必要な基礎資料になるものです。

今月下旬には、調査員が各商店にお伺いして、調査表の記入をお願いします。ご協力ください。

「正しい教育と、充実した福祉対策によって、恵まれない心身障害児に希望の光を与えたい」

こうした願いを少しでもかなえようと、市福祉協議会・小中学校PTA・小中学校長会・特殊教育研究会の発起で、さる1月21日中央公民館で「伊万里市中心身障害児育成協議会」の結成総会が開かれました。

この結成総会には、さきに募集した会員の代表者が出席いただきましたが、この趣旨にご賛同いただいた会員は、昨年末でおよそ1,030人に達しています。

総会は、役員選出や規約・事業計画・予算など、審議・決定されました。その概要を報告します。

協議会規約抜粋

第3条 本会は、心身障害児教育推進の援助をするとともに、広く心身障害児の幸福を希求し、福祉の増進を図る……。

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行なう。

- 1、心身障害児に対する社会的啓発
2、特殊教育の振興
3、関係諸団体との連絡提携
4、心身障害児の調査と指導
5、その他目的達成に必要な事業

障害児育成協を結成

第5条 本会は、本会の目的に賛同するものをもって構成する。

第6条 本会の役員及び任務は次のとおりとする。

- 1、会長 1名
2、副会長 2名
3、理事 若干名
4、評議員 〃
5、幹事 1名
6、監査 2名

第10条 本会の会議は、総会・評議員会・理事会とし、必要により会長が招集する。

第11条 総会は、毎年1回開く。但し、評議員会をもってこれにあてることができる。

第12条 評議員会は、次の事項について審議・決定する。

- 1、予算審議 2、決算承認
3、規約改廃 4、役員決定
5、その他重要事項

第13条 理事会は、会の企画・運営について審議するとともに、会務の執行にあたる。

第14条 会議の議長は、会長があたり、会議は過半数の出席により成立し、決議は過半数による……。

第15条 本会の運営について必要な

事項は、会長が理事会にはかり別に定める。

第16条 本会の経費は、会費・寄付金及び補助金をもってあてる。

2、本会会員の会費は、年間1口100円とする。

(付則) この規約は、昭和47年1月21日から実施する。

なお、第15条に基づく運営に関する規定は、別に定めてありますがその中に「昭和46年度内に必要な事業は、47年度分にあわせて実施する」という規定も含まれています。

また、協議会事務所は、伊万里小学校におくことになりました。

協議会の役員 (敬称略)

- 会長 小島満義 (南波多町)
副会長 神林春輝 (二里町)
〃 金子末松 (伊万里小)
幹事 土井宗一 (〃)
監査 脇山平作 (黒川町)
〃 前田政春 (山代町)
理事 12名 (各町及び社協・手をつなぐ親の会から選出)
評議員 59名 (各町の会員数に応じ2~4名ずつ選出)

なお、今回は事業計画・予算などについてお知らせする予定です。

市中心身障害児育成協議会
副会長 金子末松

乳 児 検 診

▷対象者 昭和46年4月1日から昭和47年3月31日までの出生児

▷日時と場所

4月6日 波多津出張所

7日 黒川出張所

12日 大川出張所

13日 東山代出張所

14日 二里出張所

※時間 13時30分~14時30分

6日から14日までの乳児検診は赤ちゃんコンクールの予選を兼ねて行ないます。赤ちゃんコンクールは4月19日、13時から14時まで伊万里玉屋で開きます。

妊 婦 検 診 と 相 談

4月11日 9時30分~12時

波多津町小島医院

13時30分~15時

東山代町内山医院

〃 18日 13時~15時

南波多町小島医院

大川出張所 (相談)

市民交通傷害保険

加入申し込みは4月15日から

交通事故は、日増しにふえています。昨年中の市内での死傷者は716人で、なくなった人18人・けがをした人698人です。交通事故は、被害

者や加害者だけでなく、家族みんなに迷惑をかけることとなります。

こんなとき少しでも経済的な補償があればどれだけ助かることでしょう。その手助けをするのが市民交通傷害保険です。

事故のとき支払う保険金は、死亡50万円から1週間未満のけが2,000円までの10段階にわかれています。

いま加入しているかたの保険期限は、4月30日です。契約更新の受け付けを4月15日から行ないます。

保険金1人480円と印かんをお持ちのうち、市役所市民課から出張所または、農協を除く金融機関・駐在員区長に加入申し込みをしてください

犬の登録と狂犬病予防注射			
4月	時	間	場 所
10日	9.30~	10.00	作井手公民館
	10.30~	11.00	大里公民館
	11.30~	12.00	二里出張所
	13.30~	14.00	東八谷欄公民館
11日	14.30~	15.00	新天町公民館
	9.30~	10.00	西分公民館
	10.30~	11.00	川南公民館
	11.30~	12.00	山代出張所
12日	13.30~	14.00	峰公民館
	14.30~	15.00	楠久公民館
	9.30~	10.00	畑川内公民館
	10.30~	11.00	大曲公民館
13日	11.30~	12.00	南波多出張所
	13.30~	14.00	中通公民館
	14.30~	15.00	松浦出張所
	10.00~	10.30	立川公民館
13日	11.00~	11.30	井手口公民館
	13.00~	13.30	大川出張所
	14.00~	14.30	長野公民館

14日	15.00~	15.30	下分公民館(松)
	9.30~	10.00	市村公民館
	10.30~	11.00	正力坊公民館
	11.30~	12.00	平尾公民館
17日	13.30~	14.00	古賀農民館
	14.30~	15.00	市役所車庫前
	9.30~	10.00	漁港公民館
	10.30~	11.00	中通公民館
	11.30~	12.00	木須西明寺
	13.30~	14.00	木須東公民館
	14.30~	15.00	西門公民館

18日	10.30~	11.00	黒川出張所
	11.30~	12.00	南波多出張所
	13.30~	14.00	大川出張所
	14.30~	15.00	松浦出張所
19日	9.30~	10.00	川南公民館
	10.30~	11.00	山代出張所
	11.30~	12.00	楠久公民館
	13.30~	14.00	東山代出張所
20日	14.30~	15.00	二里出張所
	9.30~	10.00	中通公民館
	10.30~	11.00	中央公民館
	13.30~	14.00	平尾公民館
	14.30~	15.00	市役所車庫前

第2次

18日	9.30~ 10.00	波多津出張所
-----	-------------	--------

▷登録料 300円・注射料 250円

次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

社会福祉事業費へ
 ▼香典返しを寄付
 ○浦山義光(山代町楠久)
 ○川原一二(大坪町上古賀)
 ○長男保(長男保)
 ○大久保勝利(大川町長野)
 ○長男拓志(長男拓志)
 ○松尾綾子(伊万里町今町)
 ○中井一雄(大川町川西)
 ○松尾和人(立花町渚)
 ○高森保(波多津町辻)
 ○母文江)
 ○父信一)



ありがとう

○多久島健吉(伊万里町上仲町 亡父恵吉)
 ○力武志乃(二里町大里 亡長女ふじえ)
 ○山口義一(伊万里町浜町 亡父弥作)
 ○福田セイ(瀬戸町築港 亡夫亀蔵)
 ○田代稔(新天町新田 亡母ヒサヨ)
 ○岩橋輝雄(脇田町 亡父文市)
 ○高田茂義(松浦町宿分 亡父惣助)
 ○吉岡シズエ(南波多町 井手野 亡夫春雄)
 ○馬場崎岩治郎(大川町戸石川 亡母タカ)
 ▼篤志寄付
 ○五千元 嶋田春水春華会
 一同(展覧会益金を)
 ○老千円 小林稔(伊万里町甲六一四 拾得金待期満了につき)
 (累計二四万六一三五円)
 教育振興奨励基金へ
 ▼香典返しを寄付
 ○立石要助(東山代町日尾 亡妻サヨ)
 ○高森保(立花町西門造寺 亡父信一)
 ○荒木ツヤ(東山代町里 亡父吉之助)
 ○原寿一(大川内町吉田 亡父善之十)
 ○福岡ヨシ(松浦町桃の川 亡夫武雄)
 ○小杉敏夫(波多津町内野 亡父芳太郎)
 ○高田茂義(松浦町宿分 亡父惣助)
 ○田中清(波多津町煤屋 亡母ケイ)
 (累計八九二万九七〇〇円)

山代公民館建設基金へ
 ▼香典返しを寄付
 ○山崎幸由(山代町久原三区 亡父覚次)
 ○永雅井商會株式会社社長 立石要次郎(亡前社長長医令児)
 ○吉丸ワイ(山代町川南 亡夫猛)
 ○浦山義光(山代町楠久 亡母サク)
 ▼篤志寄付
 ○老万円 中元佐枝子(山代町久原二区 山代西小退職)
 ▼伊万里町交通指導員会へ
 ○四万円 伊万里町仏教会
 ▼香典返しを寄付
 ○西田九州男(東山代町滝川内 亡父藤次)

図書寄贈
 市立図書館へ
 ○私の今治市へ寄付した文化財総覧(上・中・下巻)
 東京都文京区本郷五丁目十一番三号)
 ○佐賀銀行史 一冊 株式会社佐賀銀行
 (昭47・3・18現在)

ことものページ

2年後には1号船が進水

名村造船所いよいよ進出

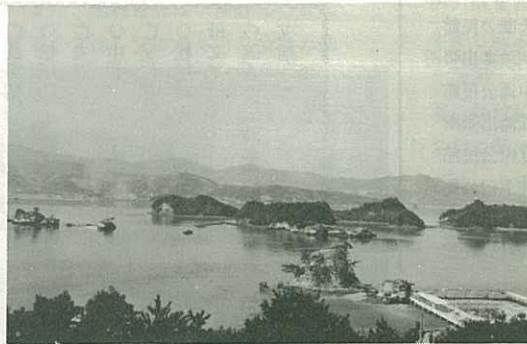
伊万里湾に浮かぶ、七つ島ふきんに、大きな造船所ができることはきよ年の8月号でお知らせしましたから、みんなよく知っていると思いますが、大阪の名村造船所という会社が、いよいよ進出してくるようになりました。

その約束ごとを書いた協定書に署名する調印式が、3月19日、市民会館の大ホールで行なわれました。

この調印式には、名村造船所の社長さん・池田佐賀県知事さん・竹内伊万里市長さんのほか、漁民のかたや、造船所などの用地になる土地の持ち主だったかたがたの代表などおよそ200人が集まりました。

そして、調印式は、11時20分からはじまりました。市民会館大ホールのステージにつくられた式場に、池田知事・名村社長・竹内市長のじゅんじょで席につき、3通の協定書にそれぞれ3人が署名して式を終わりました。なお、調印を終わった3人は、このあと、ステージの前に立ちかたいあく手をかわして、無事に調

印をすませたことを喜び合いましたところで、この造船所ができることになると、造船所のほかに船の部品



▶造船所ができる七つ島付近▶

や機械などを造る工場もたくさんできます。そうすると、工場を建てるための広い土地と海が必要で。そのため、県と市は、海の権利や土地をゆずっていただくために、昨年からは漁民や土地の持ち主のかたたちと交渉してきました。しかし、伊万里湾で魚を取ったり、のりをつくったりして生活している漁民のかたたちは、海の権利をゆずってしまうと生活ができなくなります。また、大事な財産である土地をかんたんに手ばなしたくはありません。でも、このままでは、伊万里の人口はへるいっぽうで、さびれていくばかりです。

伊万里湾を開発して伊万里を發展させようという願いは、なにもいまはじまったものではありません。すでに、わたしたちのせんぱいによって明治の時代からたゆみなく努力が続けられてきたのです。

名村造船所の誘致が成功すること

は、伊万里市民の100年の願いがいまはじめてかなえられることにもなるのです。

漁民や地主のかたたちには、大変な犠牲をおかけすることになります。が、伊万里の發展のために、県や市は心を鬼にして漁民や地主のかたに協力を求めました。

漁民のかたも地主のかたも、伊万里市のすがたを十分知っていただいているだけに「伊万里市發展のためなら」りょうもやめましょう、土地もゆずりましょうと、心よくしやうだくしていただいたのです。

県は、今月からでも計画している約150万平方メートルの工業団地をつくることにしていますが、名村造船所は、この団地のうち約51万平方メートルを県からゆずりうけて造船所を建設します。

計画によると、船をつくるドックは、長さ450メートル・幅66メートル・深さ11.5メートルもあります。ことしから建設をはじめ、49年3月には完成させ、7万トンから16万トン級の船をつくる計画です。

49年1月には、第1船として7万トン級の船が計画されています。

造船所で働く人は、はじめ700人でいだから、工場を計画的に広めて2,160人ぐらいにふやすことになっています。

しかし、こうして造船所ができるようになったのは、漁民や地主のかたたちのご協力があったからです。

わたしたちは、伊万里市の将来のためを思って、自分の仕事まで犠牲にしてご協力いただいた、たくさんの方のかた、大事な財産を心よく手ばなしていただいた地主のかたたちに対する感謝の気持を決して忘れてはならないと思います。

